

## 冬のスポーツを満喫しました

2月18日(日)に長野県立科町のしらかば2in1スキー場で、南部町スポーツ協会主催のスキー教室が開催されました。

当日は天候にも恵まれ、参加した皆さんは、元氣いっぱいスキー・スノーボード・雪遊びと冬のスポーツを楽しんでいました。



スイスイ滑れるようになりまし



滑る前に講師の説明を聞きます

## 石川県珠洲市へ 災害派遣を行いました

本町では、能登半島地震の被災地支援を行うため、職員1名を被災地に派遣しました。この派遣は、山梨県の職員応援派遣の第8班(山梨県職員・南部町・早川町・西桂町・忍野村・山中湖村・丹波山村)として2月8日から14日までの7日間で、山梨県の支援先である石川県珠洲市の物資拠点「珠洲市立健民体育館」にて被災地支援のため支援物資の搬入・搬出作業のほか、被災者への物資配布活動を実施しました。また、3月3日から9日にかけては第14班としても1名職員の派遣が決まっております。

### ◆派遣職員の声(交通防災課 若林佑也主事)

地震発生から1か月が経過した今でも、現地では断水が続いており、道路も至るところでひび割れや隆起、陥没などが見られ、倒壊した家屋で塞がれた道があるなど、痛々しい状況でした。未だ避難所での生活を余儀なくされている方も多く存在し、自宅で生活できている方でも、断水の影響から支援物資を必要としていました。

現地での活動中にも震度4の余震が発生し、不安がる被災者の姿もあり、被災者の心に寄り添い、継続した支援をしていくことが必要だと感じました。



交通防災課  
若林佑也主事



珠洲市立健民体育館

## 峡南南部3病院 医療連携に関する基本協定を締結

2月14日(水)に、身延町総合文化会館で南部町国民健康保険診療所(万沢診療所含む)と、身延町の飯富病院及び身延山病院において将来的な経営統合を目指し、相互連携を強化することを定めた基本協定が締結されました。

峡南南部地域では、人口減少の深刻化や医療人材不足で、このままでは医療提供体制の維持が困難になるとの懸念がありました。この3医療機関が連携することにより、独立性を保ちつつ役割分担をしながら、経営基盤の安定を図り、峡南南部の地域医療の維持を目指すこととなります。



峡南南部の医療を守ります